

保育者に求められる資質 ——就職先・卒業生アンケートより——

Qualities Required for Nursery Teachers: Based on the Questionnaire Results of Places of Employment and Graduates

西村 豊

Yutaka Nishimura

はじめに

2017年に告示された幼稚園教育要領、保育所保育指針および幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、乳幼児期の教育及び保育における幼稚園教諭、保育士、保育教諭等の担う役割の重要性がより一層重視され、職員の資質向上が今まで以上に求められていると言える。

本学では、「教育は人なり」と言われるように、特に乳幼児期における子どもの健全な心身の発達と人格形成の基礎を培うために、保育者の果たす役割の大きさを認識した上で、真に時代の要請に応えることのできる保育者養成を目指し、教育活動に取り組んでいるところである。

その教育活動の妥当性を自己点検・評価する一環として、3年に一度、就職先並びに卒業生に対してアンケートを行い、その結果を進路指導委員会で集約・分析し、教授会で改善策を審議し、学科会議等において全教職員で共有するようにしている。

アンケート結果は、本学の教育に対する成果と課題に対する重要な示唆を提示しており、本学の教育方針・活動等を自己点検・評価する上で、欠かせないものになっている。また、学生に対する指導においては、就職先の学生に対する期待、卒業生の想いをキャリアアップの授業や就職・進学に係る進路ガイダンス等においても有効活用している。

本研究ではアンケート結果から見えてくる就職先が求める保育者像とは何か、そのために求められる資質とは何かについて、卒業生からの後輩に対するアドバイスも含めて考察する。

研究方法

本研究では2016年と2019年に卒業生の就職先である園・施設並びに卒業生に対してアンケート用

紙(図1、2)を送付し、回答のあった就職先並びに卒業生のアンケート結果に基づき、保育者に求められる資質とは何かを検討した。

本研究で用いた資料は豊岡短期大学進路指導委員会でまとめ、分析した資料が基になっており、本研究は豊岡短期大学進路指導委員会によるところが大である。

〔園・施設用〕	
令和元年 月 日	
豊岡短期大学 宛	
就職先アンケート(回答)	
就職させていただいた本学卒業生について、該当項目のいずれかに「○」や勤務年数をご記入いただき、その状況や理由を差し支えない範囲でお教えてください。	
1. 本学卒業生は、現在も貴園(貴施設)で勤務していますか?	
ア. 勤務している。→ () 年目 (男 ・ 女) イ. 所属変更・異動した。 ウ. 退職した。	
退職した状況及び理由などを差し支えない範囲でお教えてください。	
2. 本学卒業生は、社会人としてのマナーなどの基本が身に付いていましたか?	
ア. 基本は身に付いている。 イ. 若干不足している。 ウ. 身に付いていない。	
その内容をお教えてください。	
3. 本学卒業生は、保育者としての必要な知識・技能が身に付いていましたか?	
ア. 基本は身に付いている。 イ. 若干不足している。 ウ. 身に付いていない。	
その内容をお教えてください。	
4. 本学卒業生について、どのようなことでも結構ですので、お聞かせください。	
※ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。 今後の本学の教育向上のために、ご意見を活用させていただきます。 本アンケートにご回答いただきました内容は、本人に知らせることはありません。 また、個人情報保護の観点から、取り扱いには細心の注意を払います。 (同封の返信用封筒にて、令和元年11月30日(土)までにご返送賜りますようお願いいたします。)	

図1 「就職先アンケート(園・施設用)」(豊岡短期大学進路指導委員会作成)

卒業生進路状況アンケート用紙

お名前： _____ 〒 _____

現住所： _____

連絡先電話番号： _____

Q1 卒業年度はいつですか。

(平成30年度 ・ 29年度 ・ 28年度) … (該当するものに○印を付けてください)

Q2 あなたの最初の勤務(進学)先に、今も勤務(通学)していますか？ それとも転職・退職、または進学した方は卒業して就職しましたか？下記の中から該当する記号に○印を付けてください。

ア. 今も継続して勤務(通学)している。なお、勤務の場合は< 正規 ・ 非正規 >である。

イ. 進学し、卒業後に就職した。< 正規 ・ 非正規 >である。

ウ. 中途退学した。(現在は _____ している。)

エ. 退職して、今は勤めていない。

オ. 転職した。(転職先⇒ _____) < 正規 ・ 非正規 >である。

Q3 短大生活中に力を入れて取り組んだことで、現在大いに役立っている項目の記号に○印をつけて下さい。(複数回答可)

ア. 専門知識 イ. 専門技術 ウ. 一般教養 エ. キャリア教育 オ. クラブ活動

カ. ボランティア キ. マナー ク. 言葉遣い ケ. コミュニケーション能力 コ. 文章力

サ. その他…それはどんなことでしょうか？ [_____]

Q4 就職・進学などして、短大でもっと力を入れて取り組んでおけば良かったと思うことについて、下記の項目の記号に○印をつけて下さい。(複数回答可)

ア. 授業 イ. 人間形成 ウ. クラブ活動 エ. ボランティア オ. マナー指導

カ. 面接指導 キ. 小論文指導 ク. 履歴書指導 ケ. 就職への意識づけ コ. 就職試験対策

サ. その他…それはどんなことでしょうか？ [_____]

Q5 実際に就職(進学)した経験を踏まえて、就職活動をする上で大切なことについて、短大での学修や現場で受けた指導などから後輩たちにアドバイスするとしたら、どのようなことがありますか？

[_____]

アンケートへのご回答、ご協力ありがとうございました。

※同封の返信用封筒にて、出来るだけ11月30日(土)までにポストへ投函くださいますようお願いいたします。

なお、期日が過ぎた場合でも出来るだけアンケートにご協力の上、ご返送ください。

図2 「卒業生進路状況アンケート」(豊岡短期大学進路指導委員会作成)

結 果

就職先アンケート結果について

表1 アンケート調査の園・施設への送付数並びに回答数¹⁾

年度	園・施設送付数	回答数	回答率
2016	72	62	86.1%
2019	63	54	85.7%

両年度ともに園・施設の回答率は高く、多くの資料を収集できたと考える。

以下において、アンケートの質問項目に応じてまとめと分析を行う。

「1. 本学卒業生は、現在も貴園（貴施設）で勤務していますか？」について

表2 就職先アンケート質問1. の結果¹⁾

年度	就職継続率		離職率	
2016	59/74 名	79.7%	15/74 名	20.3%
2019	60/71 名	84.5%	11/71 名	15.5%

※一つの園・施設に同一年度又は複数年にわたって複数名就職している。

厚生労働省の2020年10月発表の統計によれば、短大卒業生の3年以内離職率は、2017年3月卒業生で43.0%、大学卒は32.8%である。この短大卒業生の数字は保育士に特定したものではなく、すべての職種における合計であり、本学卒業生の離職率を高いとみるかどうかを客観的に判断することは困難である。

「2. 本学卒業生は、社会人としてのマナーなどの基本が身に付いていましたか？」について

ア. 基本は身に付いている。 イ. 若干不足している。 ウ. 身に付いていない。

表3 就職先アンケート質問2. の結果¹⁾

年度		1年目	2年目	3年目	異動	退職	全体	割合
2016	ア	17	11	10	4	8	50	67.6%
	イ	8	3	3	0	5	19	25.7%
	ウ	2	1	0	0	2	5	6.8%
2019	ア	11	15	9	3	3	41	60.3%
	イ	5	5	6	1	5	22	32.4%
	ウ	1	1	1	0	2	5	7.4%

※2019年度の回答には未記入が3名分ある。

この質問の「その内容をお教えてください」の記述において、2016年、2019年ともに「挨拶、言葉遣い、礼儀」に関係するコメントが圧倒的であり、これらがいかに求められているかが分かる。「挨拶、言葉遣い、礼儀」に関する「身に付いている」と「若干不足・身に付いていない」の比率は表3の全体的な比率とほぼ同じであることが分かる。

表4 就職先アンケート質問2.「その内容をお教えてください」のコメント内容¹⁾

年度	「挨拶、言葉遣い、礼儀」関係		身に付いている		若干不足・身に付いていない	
2016	27/38(コメント総数)	71.1%	18/27	66.7%	9/27	33.3%
2019	30/45(コメント総数)	66.7%	19/30	63.3%	11/30	36.7%

その他にも「謙虚な姿勢・素直さ、指示・指導を受けた時の態度、人間関係、協調性、提出期限・ルールを守る」などが「身に付いている」、「若干不足・身に付いていない」の両観点から挙げられ、「挨拶、言葉遣い、礼儀」関係のコメントと合わせると、ほぼ全てのコメントを網羅している。園や施設において求められている社会人としてのマナーが明確に見えてくる。

「3. 本学卒業生は、保育者としての必要な知識・技能が身に付いていましたか？」について

ア. 基本は身に付いている。 イ. 若干不足している。 ウ. 身に付いていない。

表5 就職先アンケート質問3. の結果¹⁾

年度		1年目	2年目	3年目	異動	退職	全体	割合
2016	ア	15	10	8	4	8	45	70.3%
	イ	6	0	3	0	4	13	20.3%
	ウ	5	0	0	0	1	6	9.4%
2019	ア	11	11	7	3	2	34	52.3%
	イ	4	9	7	5	2	27	41.5%
	ウ	1	0	2	1	0	4	6.2%

※2016年の回答には未記入が10名分、2019年の回答には未記入が6名分ある。

この質問の「その内容をお教えてください」の記述において、2016年は48、2019年は53のコメントが寄せられており、両年度ともに「社会人としてのマナー」についての質問に対するコメント数よりそれぞれ10と8多く、その指摘内容も多様で多岐にわたっている。これは、園長や施設長の保育観や教育観はそれぞれに多種多様であり、そこには園長や施設長の想いがより詰まっているように思える。100人教師がいれば100通りの教育があると言われる所以である。それと同様に、学生の特性もさまざまであり、必然的にコメント数が増えたものと考えられる。

2016年も2019年も、身に付いているものとして、「子どもに寄り添う、努力・練習する姿勢、ピアノ」などが多く挙げられている。また、身に付いていないものとして、「子どもに寄り添う、ピアノ、報告・連絡・相談、製作」などが挙げられている。特に「子どもに寄り添う」は「優しさ・丁寧さ」

といった同様の内容のものも含めて、「身に付いている」、「若干不足・身に付いていない」のいずれの観点からも一番多く挙げられている。2016年は11/48(22.9%)、2019年は12/53(22.6%)と園や施設において保育者として最も求められているものであると言える。

ただ、保育者として最も必要であると思われる「子どもに寄り添う」ということを身に付けずに卒業し、保育を行っている卒業生が一定数いることに責任を感じざるを得ない。

「4. 本学卒業生について、どのようなことでも結構ですので、お聞かせください」について

この質問に対しても、2016年は54、2019年は50と多くのコメントが寄せられている。同時に、多くの要素が一つのコメントに含まれており、どちらかと言うと長いコメントになっているものが多い。上記3の質問のコメントと同様に園長や施設長の保育観や教育観が色濃く反映されたものとなっていると言える。

複数寄せられたコメントを以下にジャンル別・項目別に年度ごとのコメント数も含めてまとめる。
在学中に身に付けて欲しいこと²⁾

- ・常識、節度、マナー (2016年：12、2019年：7)
- ・コミュニケーション能力 (2016年：4、2019年：3)
- ・専門的知識に基づく幅広い視野 (2016年：1、2019年：3)
- ・期限・時間を守る (2016年：5、2019年：1)

就職したら心がけて欲しいこと²⁾

- ・先輩の言葉やアドバイスを素直に一度受け止める (2016年：4、2019年：6)
- ・抱え込まずに相談する。尋ねる。馴染む (2016年：2、2019年：5)

こんな気持ちを大切に²⁾

- ・素直さ・謙虚さ、真面目さ、一生懸命さ (2016年：14、2019年：9)
- ・前向きな姿勢 (チャレンジ精神、積極性、学ぼうとする姿) (2016年：6、2019年：5)
- ・子どもと楽しく。子どもが大好き (2016年：5、2019年：1)

この質問に対するコメントで留意すべきは、卒業した年度の学生の全体的な傾向・特質によって、指摘事項に偏りが見られることである。年度によって卒業生の特質のみならず、回答していただく就職先や担当者が異なることにより、コメント内容が変化するのは当然のことであると考ええる。

ここで指摘されたコメントは、保育者としての専門知識や専門技術に関わることも含まれているが、保育者としてだけではなく、誰でもが人間として、社会人として生きていく上で必要な資質であると考えられる。

特に、「常識、節度、マナー」と「コミュニケーション能力」は、一見別物のように思えるが、表裏一体のものであると考える。また、「素直さ・謙虚さ、真面目さ、一生懸命さ」も「常識、節度、マナー」、「コミュニケーション能力」とオーバーラップする部分が多くあり、それぞれが独立してあるものではないと考える。これらの3つの領域がそろった人間性が求められていると言える。

タだけで一般化して考えるのは困難である。

「Q5 実際に就職（進学）した経験を踏まえて、就職活動をする上で大切なことについて、短大での学修や現場で受けた指導などから後輩たちにアドバイスするとしたら、どのようなことがありますか？」について

先輩は、自分の経験に基づいて、自分の失敗を後輩がすることのないようにという想いで、後輩のためにさまざまな事を伝えてくれている。どのコメントも先輩の熱い想いがこもっていて非常に説得力がある。

保育者として必要なものとして在学中に頑張っ身につけるものとして複数寄せられたコメントを以下に挙げる。

- ・ピアノ、手遊び、ペープサートや玩具

「自信のあるものを一つでも多く作っておくこと」「引き出しを増やす」等のコメントが多かった。その中でも特に、ピアノについては一番多くの指摘があり、「レパートリーを増やしておく」などのコメントがあった。現場で一番求められている専門技術であると言える。

- ・授業

「座学だけではなかなかイメージが湧かないことも多いかと思いますが、現場に出ると、先生方に教えていただいた言葉の意味が理解できるようになってきました」「役に立たない授業と思うものでも、現場に出てみて急に必要になることがある」などのように現場に出て初めて大学での授業の大切さを実感するようである。

- ・言葉遣い、気遣い、マナー、コミュニケーション能力、一般常識

多くの卒業生が、この5つを、バラバラではあるが、それぞれに挙げていた。この5つは、連動しており、日頃の授業態度や生活態度、クラブ活動、ボランティア活動等、大学生活全体を通して意識して身に付けるべきものである。この5つに関連して「素直な心と笑顔」というコメントもあった。これらは、職場における人間関係の形成に必須のものであり、報告・連絡・相談の基盤となるものである。「人間力」の向上が求められていると言える。

総合考察

今まで検討してきた就職先アンケートと卒業生進路状況アンケートの結果を以下に総合的にまとめる。

総合的に求められる人物像

- ・あいさつなどの礼儀・言葉遣い。常識があること
- ・コミュニケーション能力
- ・前向きな姿勢、チャレンジ精神、一生懸命さ
- ・素直さ、謙虚さ、真面目さ、明るい性格

- ・ 責任感がある
- ・ 考えて行動ができる
- ・ 協調性、ルールを守る、時間や提出期限を守る

保育者として求められる資質

- ・ 子どもに寄り添う、子どもの目線に立つ
- ・ ピアノ、歌、製作、手遊びなどの専門的技術

就職先アンケートと卒業生進路状況アンケートの結果から、保育者として求められる専門知識や専門技術、「子どもに寄り添う」ことは当たり前の大前提として考えた時に、保育者に求められる資質とは、人間関係形成能力や人間形成などを含めた総合的な力ということになる。この力は、いかなる職種で働こうが、社会人として、人間として常に求められているものである。

この力があってこそ初めて、保育者として必要な「子どもに寄り添う。子どもの目線に立つ」ことが本当の意味で可能になると考える。

この力こそ「人間力」であり、我々保育者養成校に求められているのは、この「人間力」を高めるための教育活動をいかに行っていくのかということである。

引用文献

- 1) 豊岡短期大学進路指導委員会. (2016, 2019). 卒業生就職先アンケート (追跡結果).
- 2) 豊岡短期大学進路指導委員会. (2019). 卒業生就職先アンケート (追跡結果) のまとめ.
- 3) 豊岡短期大学進路指導委員会. (2016, 2019). 卒業生進路状況アンケート (追跡結果).

参考文献

- 厚生労働省. (2018). 保育所保育指針解説. フレーベル館.
- 豊岡短期大学進路指導委員会. (2019). 卒業生進路状況アンケート (追跡結果) のまとめ.
- 豊岡短期大学進路指導委員会. (2019). 目指す人物像: 卒業生就職先アンケート (追跡結果) と卒業生進路状況アンケート (追跡結果) のまとめ.
- 内閣府・文部科学省・厚生労働省. (2018). 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説. フレーベル館.
- 文部科学省. (2018). 幼稚園教育要領解説. フレーベル館.